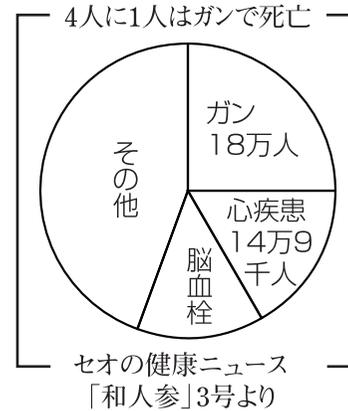




## 死亡原因のトップはガン

イ) 人は誰でもガンになる火種(発ガン性細胞)をもっている。火種に「仕掛人」(イニシエーター)が発ガンのきっかけをつくり、次いで後押しするもの(プロモーター)が火勢をあおる。微小の状態から異常増殖した状態が病気としてのガン。

ガンのきっかけから、臨床ガンに至るまで10~20年それ以上かかる。



ロ) ガンは遺伝より生活のしかたが問題、がん予防の生活法を守れ

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1. 偏食しない、1日30品目とる   | 10. 同じ食品を繰り返し食べない                  |
| 2. 食べ過ぎをさげ、脂肪のとりすぎをさける                                    | 11. 深酒しない                          |
| 3. 喫煙は少なめに  | 12. 適量のビタミンA・C・Eとせ<br>んい質を多くとる     |
| 4. 塩辛いものを多量に食べない、<br>あまり熱いものをとらない                         | 13. ひどく焦げた部分は食べない                  |
| 5. カビの生えたものは食べない  | 14. 過度に日光にあたらぬ                     |
| 6. 過労をさける   | 15. 身体を清潔に保つ                       |
| 7. 体力の強化を心がける   | 16. 食事をするときによくかむ<br>(変異原を70%無毒化する) |
| 8. 毎日散歩をする<br>(100-年齢=散歩時間)                               | 17. 趣味などの生きがいをもつ                   |
| 9. 早寝・早起きのバイオリズムを<br>守る(宇宙の法則)・・・<br>不眠・イライラシリーズ<br>P37参照 |                                    |



ハ) 「ガン」と解ったら、すぐ「アガリクス」「靈芝」「6年根朝鮮人参」を飲め

ガンの決め手は現代医学でもありません。もし家族の誰かが「ガン」と診断されたら「薬草療法と靈芝」を飲むことです。

ニ) 補助剤を考えよ

今、私達をとりまくものは、化学物質(変異原)[ガンの引き金になる物質]がいっぱいです。

A・C・E をとる

- ※ビタミンA・・・ポリゲロン
- ※ビタミンC・・・ビボーンC
- ※ビタミンE・・・タウロメートE(酢酸d-α-トコフェロール・天然型ビタミンE)
- ※食物せんいをとる・・・日邦れいし、品質最高のササヘルス
- ※食欲のないとき・・・バイオアルゲンA、グロスミン源液、レバコール群、若甦群  
(6年根人参)

ホ) 日本人に多くなる大腸ガン(P90)

まず、便秘をしないよう毎日お通じをつけましょう。

※コンチーム (納豆菌・カルシウム・乳酸菌・消化酵素)  
・腸内のよい菌をふやす。

※センナダイオウ (センノサイド・レイシ等)  
・通じをうまくつけてくれます。  
・一生飲んでもよい生薬下剤です。

~~~~~ は  
健康食品です。

アガリクス  
靈芝  
日邦れいし  
バイオアルゲンA  
グロスミン源液





ガンは身から出たサビである。

## ガンは身から出たサビである

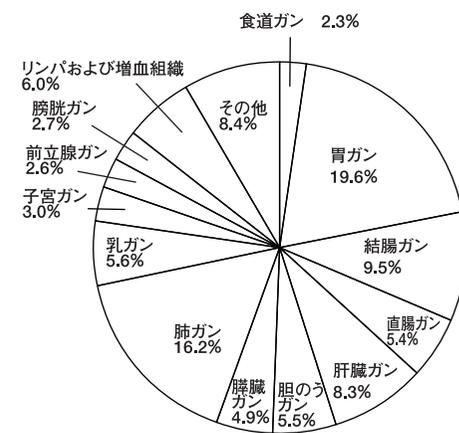
成人病の原因は活性酸素らしいですよ

(セオ薬局では20年前より気をつけていた)

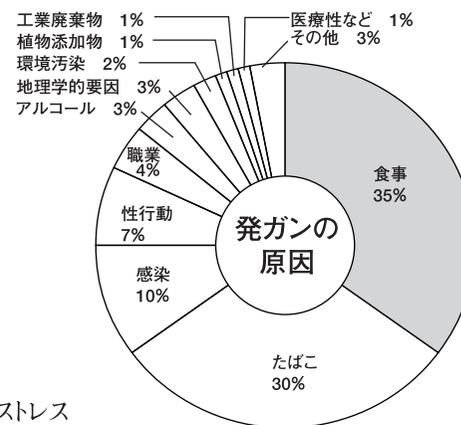
私たちの身体は、60兆個の細胞で構成されている。  
 これらの細胞内の遺伝子が損傷を受けると遺伝子情報が狂って指示と違った作用を始める。  
 これが、ガンの始まり。(引き金=イニシエーション)  
 さらに細胞は異常のまま増殖する(あと押し段階=プロモーション)  
 このようなガン発生、進行のあらゆる過程で遺伝子に攻撃をかけて異常を起こすのが活性酸素である。

### ○みんなが持っているガン遺伝子

日本人の3人に1人がガンになる



### ○生活習慣病は食生活の乱れから



発ガンの原因の35%は食生活、そしてストレス



活性酸素をうち負かす(無毒化する)補助剤を考えよ。

#### 1. 数種の活性酸素を取り除き、きれいな血液を確保

タウロメートE・レバコール・若甦(6年根人参エキス)・ビボーンC・ササヘルス

バランスターZ(自然のものを原料)・マリンゴールSOD(抗酸化物質)・イチョウ葉エキス

#### 2. 腸内細菌の活性化が免疫力の源(日本人に多い大腸ガン)

コンチーム(腸内環境を考える)・センナダイオウ(便秘を整える)

#### 3. 免疫力システムを活性化する ガンと解ったら「霊茸」を摂れ

霊茸・アガリクス・寿霊茸(ストレスによる血行障害に良い)

(和人参誌12号 瘀血、P12)

#### 4. 漢方薬療法

加味帰脾湯・牛黄製剤(長城清心丸・牛龍黄)

補中益気湯・十全大補湯・W.T.T.C・田七人参

#### 5. 薬草療法

「胃ガン」と診断された患者に、菱の実、薏苡仁、等の5種混合の煎薬を投与。延命効果を認め末期ガンの痛みがほとんどなかった、と発表(鳥取日赤病院)

「セオの健康告知板 和人参」vol.3号 5頁 3段目 9の処方

#### 6. 最近の例

60代後半の男性、体格普通、2~3ヶ月おきに、38℃前後の発熱がある。発熱後、だるくて、回復には時間がかかる。白血球が少なくなって、2000代である。時として1000代になっていることもあった。加味帰脾湯と牛黄清心元を1日1/2球。だんだん発熱の期間がのびてきた。今では春先一回、秋口に一回となる。白血球は、3000代に上昇。年二回の発熱は春と秋口の「かぜ」かも解らないという。今年で4年目。本人の意思により、がんとして抗ガン剤の投与を避けた由。

~~~~~ は健康食品です。

バランスターZ  
マリンゴールSOD  
イチョウ葉エキス  
アガリクス  
寿霊茸  
田七人参  
霊茸



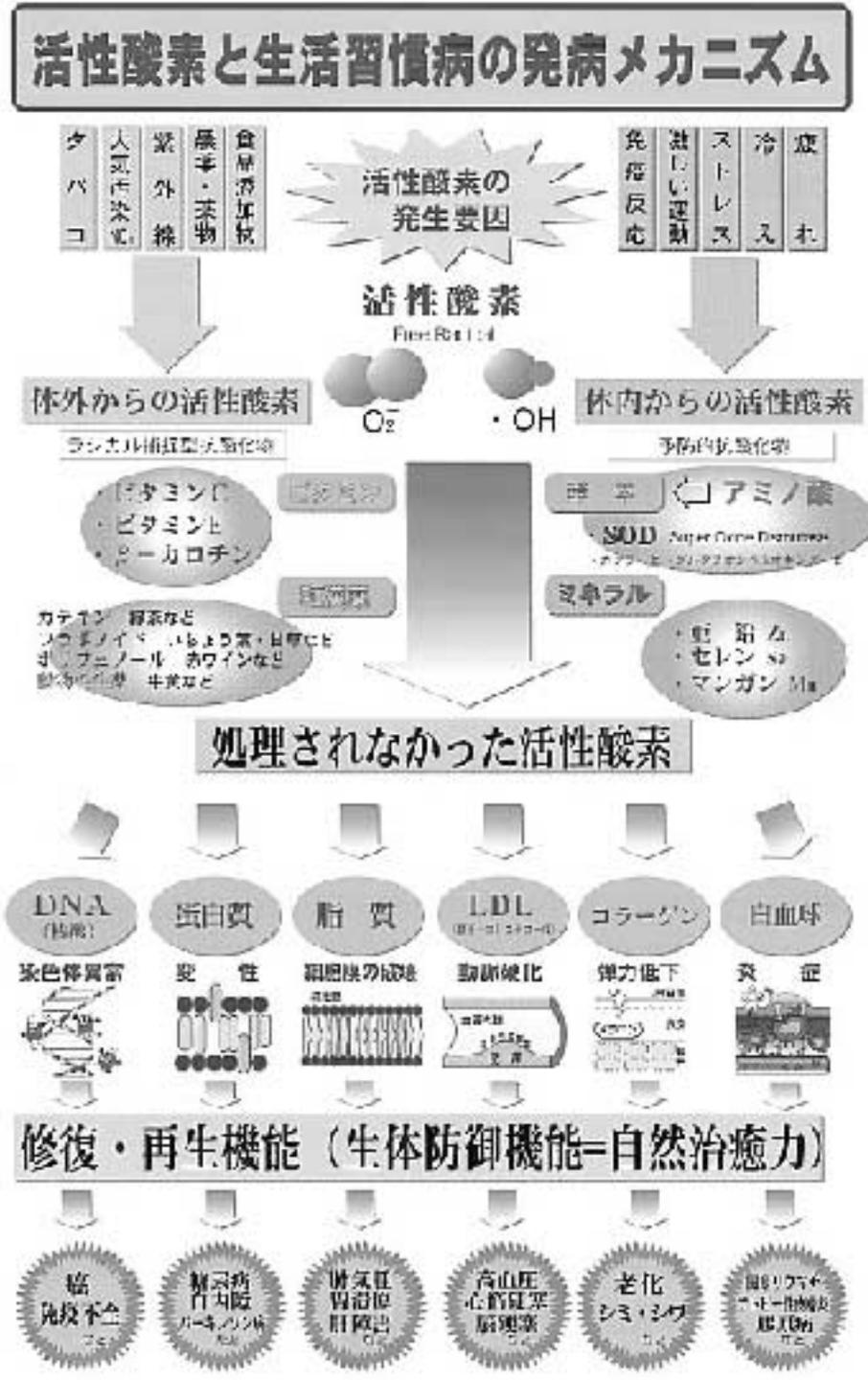
#### そこで“活性酸素”とは?

われわれヒトの体内にとり入れられた酸素が酸化力の強いものに変身、他の物質を酸化(サビつかせる、鉄のサビと同じ)させる。

ガンは身から出たサビである。



活性酸素と生活習慣病の発病メカニズム

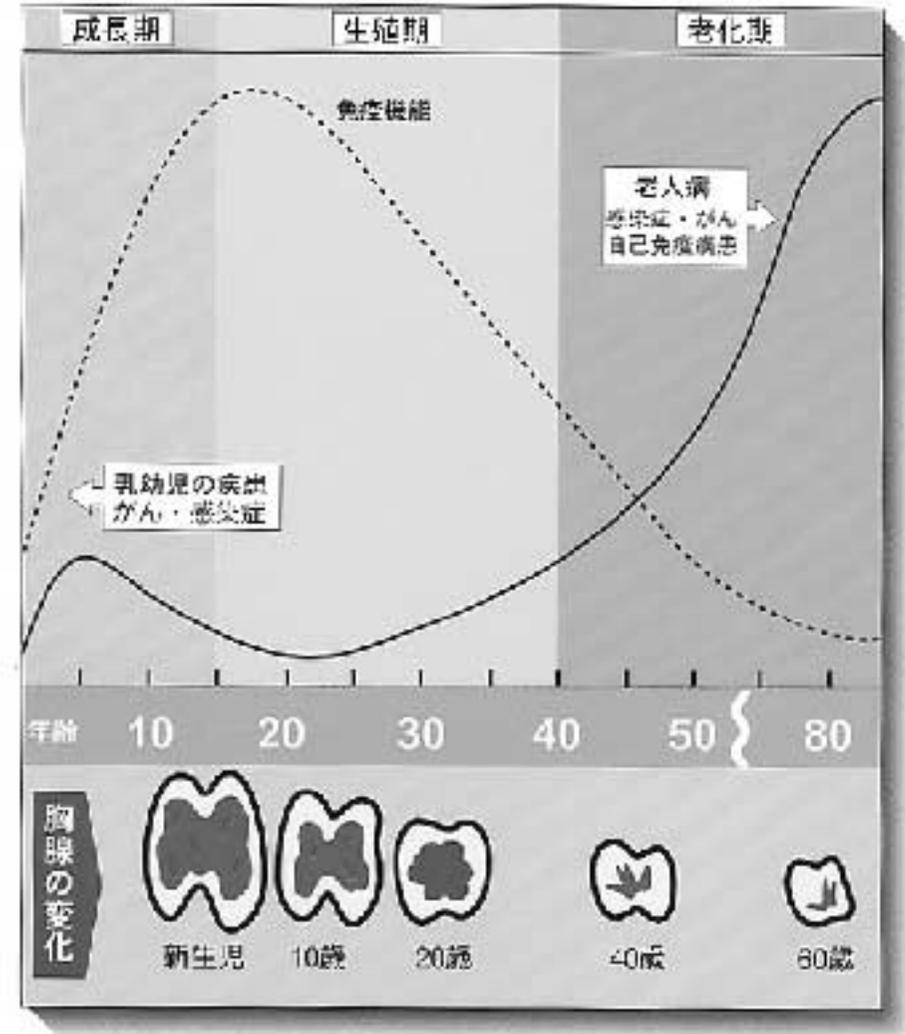


疾患別生活習慣病チャートより



### 胸腺の萎縮と免疫機能の低下

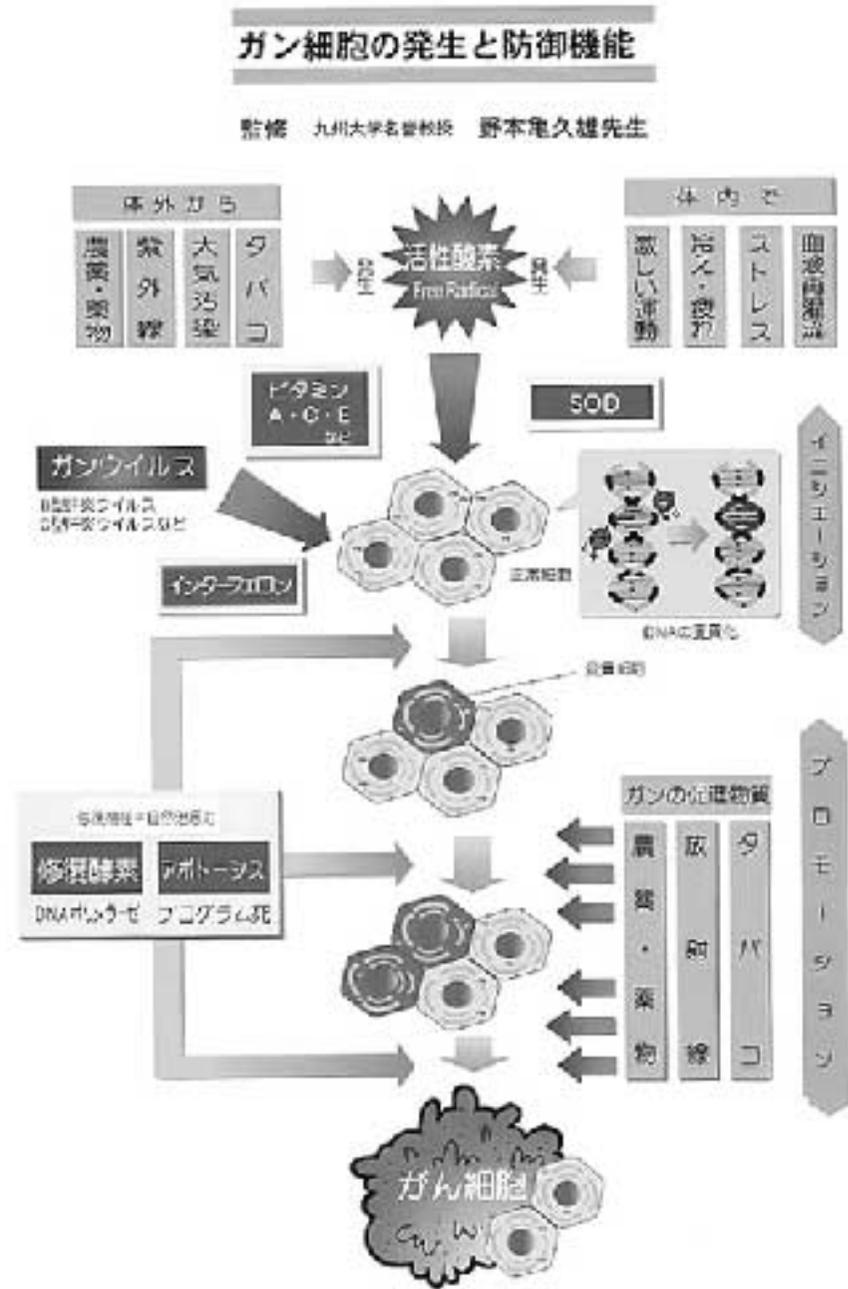
監修 九州大学名誉教授 野本忠久先生



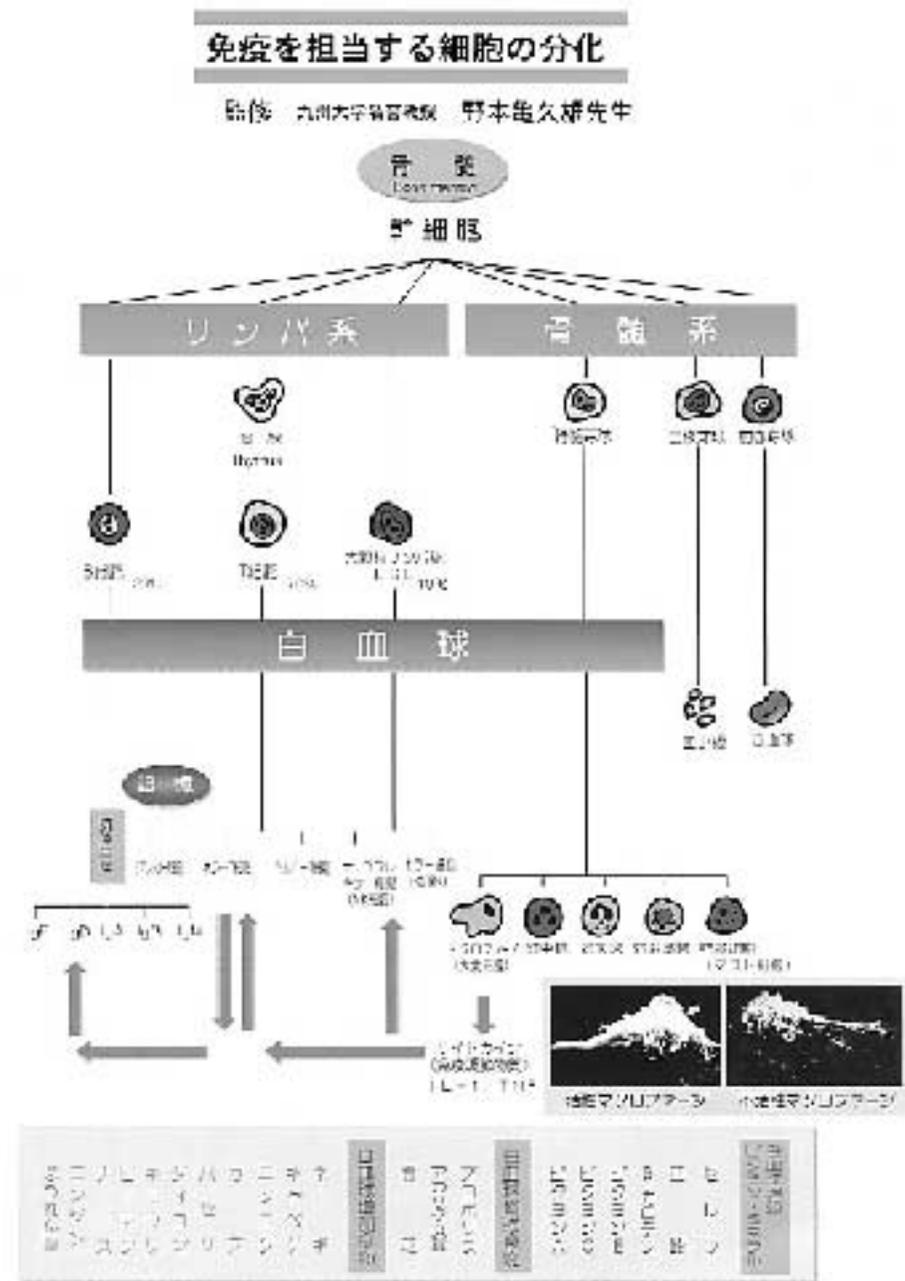
疾患別生活習慣病チャートより



胸腺の萎縮と免疫機能の低下。



疾患別生活習慣病チャートより



疾患別生活習慣病チャートより

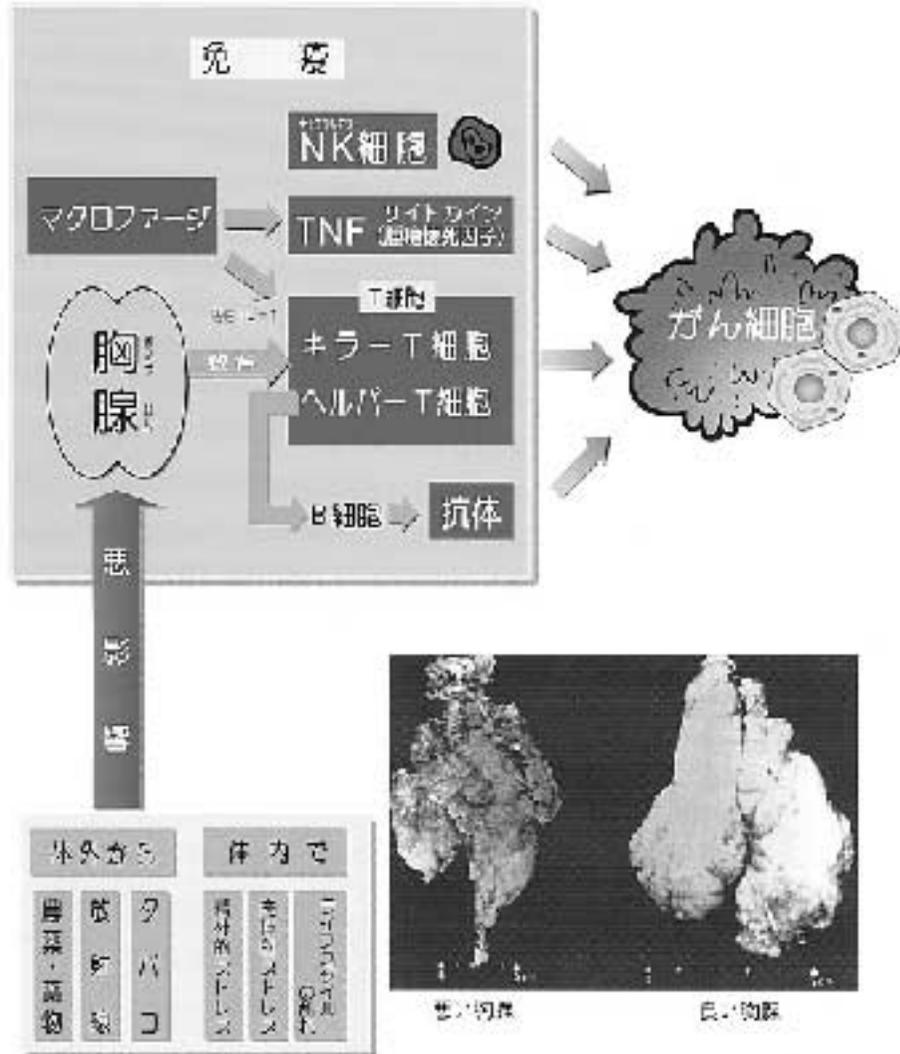




ガン細胞に対する免疫機能。

### ガン細胞に対する免疫機能

監修 九州大学名誉教授 野本重久氏先生



### ビタミン・ミネラル等の不足と体の異常

| 名称        | ガン | 肥満化 | 糖尿病 | 心臓病 | 脱毛・白髪 | 貧血 | 骨密度低下 | 肌荒れ | 精力減退 | 腸胃障害 | アレルギー | 皮膚病 | 免疫力低下 |
|-----------|----|-----|-----|-----|-------|----|-------|-----|------|------|-------|-----|-------|
| カルシウム Ca  | ●  | ○   | ●   | ○   |       |    | ●     | ●   | ○    |      | ●     | ●   | ●     |
| マグネシウム Mg | ○  | ●   | ○   | ●   |       |    | ●     | ○   | ○    |      | ○     | ●   | ○     |
| カリウム K    | ○  | ○   | ○   | ○   |       |    |       |     |      |      | ○     |     |       |
| 鉄 Fe      |    |     |     |     |       | ●  |       | ○   |      |      |       |     |       |
| 銅 Cu      |    | ●   |     | ●   | ●     | ●  | ○     | ○   |      | ●    | ○     | ○   | ●     |
| 亜鉛 Zn     | ●  | ●   | ●   | ○   | ●     | ○  | ○     | ●   | ○    | ○    | ●     | ●   | ●     |
| マンガン Mn   |    | ●   | ●   |     |       | ○  | ○     | ○   | ●    | ○    |       |     | ○     |
| ヨード I     |    |     |     |     | ○     | ○  |       |     |      |      |       |     |       |
| セレン Se    | ●  | ○   |     | ○   | ●     |    |       |     | ●    |      | ●     |     |       |
| コバルト Co   |    |     |     |     |       | ●  |       |     |      |      |       |     |       |
| ビタミンA     | ●  | ○   | ○   |     | ○     |    |       | ●   | ○    |      | ○     | ●   | ●     |
| ビタミンB1    |    |     |     |     |       |    |       | ○   | ●    |      |       |     |       |
| ビタミンB2    |    |     | ●   |     |       |    |       | ○   | ●    | ○    |       | ●   | ○     |
| ビタミンB6    |    |     | ●   |     |       |    |       | ○   | ○    |      |       | ●   | ○     |
| ビタミンB12   |    |     |     |     | ●     |    |       | ○   |      |      |       |     |       |
| ビタミンC     | ●  | ●   | ●   | ●   |       | ○  |       | ○   |      |      | ○     | ○   | ○     |
| ビタミンE     | ●  | ●   | ●   | ●   | ●     |    |       |     |      |      |       |     |       |
| ビタミンD     | ○  |     |     |     |       |    | ●     | ○   |      |      | ○     | ●   | ●     |
| 葉用アザ      | ●  | ●   | ●   | ●   | ●     | ●  | ○     | ●   | ●    | ●    | ●     | ●   | ●     |
| アミノ酸      | ●  | ●   | ●   | ●   | ●     | ●  | ○     | ●   | ●    | ●    | ●     | ●   | ●     |
| セレン       | ●  | ●   | ●   | ●   | ○     | ○  |       | ○   | ○    |      | ○     | ○   | ○     |
| 亜鉛        | ○  | ○   | ○   | ○   | ○     | ○  |       | ○   | ○    |      | ○     | ○   | ○     |

● 不足が原因 ○ 不足が原因ではない



ビタミン・ミネラルなどの不足と体の異常。